



事業名	漁業施設低気圧被害借入資金利子補給事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	中村文隆

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	利子補給件数		
【抱える課題やニーズは】	漁業生産施設被害からの早期復旧		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漁家経営の早期復旧及び安定化		① 利子補給件数	目標年度	平成24年度
				目標値	4件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	漁家経営の安定化	②	実績値	4件	
			達成度	100.0%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	融資実行金融機関への利子補給	漁業施設低気圧被害借入資金通機関に対する利子補給(北海道と町で実施)			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	平成18年度に発生した低気圧被害に対する緊急支援事業として国・道の施策として実施している事業であり、災害からの早期復旧及び漁家経営の安定化のため町も支援する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	資金借入に対する利子負担の軽減により、漁家経営の安定化が図られている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町の要綱により負担割合が定められていることから、事業費抑制等のコスト削減ができない。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	国、道の施策として実施している事業であり、融資を受けた者の利子負担もあることから公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
借入利子の負担軽減により、漁家経営の早期復旧及び安定化が図られている。		



継続/現状維持		
平成18年10月に発生した低気圧災害による被災した漁業生産施設の早期復旧を図るため、国・道の施策として実施している事業であり、継続実施が必要である。(平成25年度終了)		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止